

2025.5.22 (木)
第 42 回例会
(通算3804回)

2024-2025 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「地域を愛し、未来を語る ロータリーの輪を広げましょう」

第86代会長 高橋 直人
副 会 長 吉田 英一
幹 事 東堂 光春
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ～ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2024-2025 年度
国際ロータリーテーマ



2024-2025 年度
RI会長 ステファニー・A.アーチック
第 2500 地区ガバナー
小谷 典之 (帯広西 RC)

本日のプログラム 「RYLA セミナー報告会」(青少年奉仕委員会)

次週例会 「嵯峨記念奨学生新入生報告会」(嵯峨記念育英会委員会)

■ロータリーソング：我らの生業 ■ソングリーダー：小林 祐介君

■会員数 105 名

■ビジター

■ゲスト 東京海上日動火災保険株式会社釧路支社 島川 颯太郎様・ // 小形 諒人様

会長の時間 高橋 直人会長



皆さん、こんにちは。先週の例会で杉村パスト会長が釧路商工会議所制作の動画『Cool Stay 釧路』の説明をしておりましたが、皆さまのメーリングリストに昨日、流れていたはずですが、私も拝見させていただきましたがとても完成度の高い動画でした。ぜひとも見ていただいて拡散していただければと思います。

さて、今日の例会は、青少年指導者育成プログラム、通称・ライラセミナー報告会です。このセミナーの目的は、地域社会の若い人々の指導力および善良な市民として資質や個人の能力を伸ばすことにロータリアンが直接関与できる特別な機会です。目標は、ロータリーが青少年を尊重し、かつ、青少年に関心を抱いていることを一層明らかにすること。選ばれた青少年指導者およびその資質のある人に実地訓練を体験し、責任ある有能なボランティア青少年指導者となるよう激励・援助すること。青少年による青少年へのたえざる、力強い指導を奨励すること。青少年指導者として地域社会に尽くしている多数の青少年の優れた資質を公に表彰すること。であります。

このような建前がありますが、今日ご参加の皆さまには、まずライラセミナーに会社から選抜されたこと、そして、釧路ロータリークラブ例会で報告できること

が人間力アップにつながることにし、幹部候補生として自覚を持ちこれからの生活に役立ててください。最後になりますが、5月17日に、嵯峨記念育英会奨学金の選考会議が開催されました。厳正なる審議の結果、今年度は5名の奨学生が決定いたしました。故嵯峨晃氏の想いにつなげていくために、これからも釧路ロータリークラブ会員全員で取り組んでいくために、これから5名の奨学生がいらっしゃいますので、これから成長するのを見極めるためにもぜひ次週の例会に参加していただきますようお願いして本日の会長挨拶といたします。

今日も、楽しい例会にしましょう。

幹事報告 東堂 光春幹事

皆さん、こんにちは。2500地区より4月14～17日、シカゴで開催された規定審議会の報告会のZOOM開催のご案内が来ております。開催日時は6月2日月曜日、19時から20時30分までとなっております。対象者は次年度会長・幹事とご視聴されたい会員の皆さまとなっておりますので、ミーティングID、パスワードをホワイトボードに張っております。事前に出欠連絡もありますので参加ご希望の方は5月28日水曜日までに事務局までご連絡をお願いします。

■本日のプログラム■
「RYLA セミナー報告会」

青少年奉仕委員会 横田 英喜委員長

青少年奉仕委員会委員長の横田です。本日は、4月26～27日に十勝の中札内村のグランピングリゾートのフェーリエンドルフで行われましたRYLAセミナーの報告会です。



今日、来ていただきましたのは東京海上日動火災保険の島川颯太郎さん、同じく小形諒人さんです。お二人はどうぞステージにお上がりください。

早速ではありますが、島川さん、小形さんの順でRYLAセミナーの報告をお願いします。せっかくの機会ですので、自己紹介も含めて発表していただければと思いますので、よろしくお願いいたします。それでは島川さん、よろしくお願いいたします。

東京海上日動火災保険株式会社釧路支社 島川 颯太郎様



ただいま紹介に与りました東京海上日動火災保険釧路支社の島川颯太郎と申します。本日はよろしくお願いいたします。

私は、出身は小樽で、大学も小樽の大学に通っておりましたので23年間、ずーっと小樽で生活をしてきました。いま入社2年目ですが、初めて道東地区の釧路に22歳で来ました。まだ釧路の探索ができていない状況なので、釧路のお勧めスポットなどがありましたら教えていただけたなら幸いです。

私の趣味ですが、小学生からテニスをしておりまして、大学卒業まで大会で続けておりました。実は、一昨年に松岡修造とテニスをしたことがあるくらいテニスをやり続けております。その年は北海道が一番の猛暑日で、松岡修造とテニスをした日は38度を超えたくらいで、この人は夏を呼んでくるくらいの活力のある方とテニスをしていたという経験を大学時代はさせていただきました。

本日のRYLAセミナーの発表についてですが、今回のセミナーの達成する目標は、夢を見つけてこれからの人生に希望を持ちながら世界に貢献する若手を育成する場として、先ほどの紹介された中札内村で開催されました。

この年になると、夢というのを考えなくなってきて

いて、小さい時の夢は実現しないとか、夢って叶わないものだろうというイメージを持っていたのですが、今回の特別コースとして、私はその時不勉強で名前を知らなかったのですが、元サッカー日本代表の城彰二さんというすごい方が来ておりまして、自分の人生の夢とか挫折、リーダーシップについてなどお話をさせていただきました。

そこで得た学びとか気づきについて発表いたします。よろしくお願いいたします。

城さんの話の中にあった挫折について得た学びや気づきです。城さんはフランスのワールドカップに日本代表で出ていた話をしていました。そこまで順風満帆な生活をしてきていて、エースとして出場した大会で「ノーゴールで終わってしまった」という話をされました。

その中で家を放火されたり、殺害予告が100件以上来たり、車を放火されたり、など人生のどん底を経験されたという話をしておりました。その時には、人生を止めてしまいたい、死んでしまおうと思って、自殺の寸前まで行ったとも話されました。

そこからどのように復活したのか、どのように立ち直ったのかの話をされました。「そういう時の見返す力、反骨心を大事にした」と言っていました。自分の夢とか目標は何だろうと改めて考えた時に、そこで私はハッとさせられました。

「夢は小さな目標の積み重ねです」と話されました。私は、夢というのは遠いもので、実現をしないものと思っていたのですが、城さんは、「小さな目標を積み上げて行くことによって夢は実現される。目標の延長線上に夢があるのだよ」と話されました。そこで今までなかった観点、夢は遠くにあるものだから実現はできない、口に出すのもちょっと恥ずかしいと思っていたのですが、これからは自分の夢を大きく発信して行こうと思っています。

この場で、自分の夢について話させていただきたいと思います。私の夢は、テニスを長い間やって来た経験から、自分だけのテニスコートを持ちたいという夢を持っております。いつになるか分からないし、叶わない夢かなと思っていて話すのは恥ずかしいと思っていたのですが、この場を借りて私は、いつかは自分だけのテニスコートを建てて、目一杯テニスをするという目標を、夢をいつかは叶えたいと思っていることを皆さんに覚えていただければと思います。いつか実現したら、報告させていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

城さんの話の中で、もうひとつ私の心に残っているのは、リーダーシップの話がありました。その中で城さんは、J2のチームでキャプテンをやった時の経験を話しました。

「ひとり一人が悩みを抱えていて、若手・中堅・ベ

テラン、それぞれが悩みを持っている、別方向の悩みを持っている」と言うのです。「意見そのまま、年代も違う人たちがぶつけてしまうとチームは同じ方向を向かない。それをまとめ上げるのがリーダーです。一度、皆さんの意見を集約してそれを全体に意見として発信する場を設けた」と話されました。

いま働いていても、年代が違ふと考え方が違ったり、ジェネレーションギャップではありませんが考え方が違ったりを感じることもありますので、自分にリーダーをする機会があった時には、周りの意見をしっかり聞くことや自分の意見だけに溺れずに他人の意見を傾聴することを改めて城さんの話から感じさせられました。

最後に、RYLA セミナーに参加させていただいた時の同世代のメンバーとの話がありましたが、皆さんは自分に対して夢を語るのは恥ずかしい、夢について消極的だな、そういう時代なのかな、という話があったのですが城さんの話を聞いて、私も先ほど自分の夢を話しましたが、自分の夢について積極的に発信していくことが大切なのだと思います。これからも自分の夢をどんどん発信して行こうと思います。ありがとうございました。

東京海上日動火災保険株式会社釧路支社 小形 諒人様



私、小形から報告します。このような豪華な会にお招きいただきまして誠にありがとうございました。

私の自己紹介を簡単にさせていただきます。私の出身は苫小牧です。小学校1年生から大学4年生までアイスホッケーを続けておりました。その関係から高校時代に釧路でロータリーカップアイスホッケー大会がありましたので、それに参加させていただきました。全道大会、全国大会を迎えるうえでの前哨戦としての貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。

その経験から、ロータリーという言葉は知っていたのですが、ロータリーがどのような活動をされているのかまでは分からずに迎えたRYLA セミナーでした。そのRYLA セミナーの冒頭で小谷ガバナーからロータリーについての説明がありました。主な活動例としてポリオという感染症の撲滅活動をされているとか、ロータリークラブは包摂性を大事にされていることが印象的でした。多様な人々がひとつのグループとなって社会貢献して行くことを大事にされているという言葉がとても印象的で、僭越ながら素晴らしいことと思った次第です。

その包括性に関わることですが、先ほど島川さんのお話がありましたが、グループワークを通じて様々な方の意見を聞く機会がありました。出身が旭川、根室、美瑛など道内各地から様々な職業に就かれている方、様々な背景をお持ちの方とディスカッションすることで、自分では全く考えないような気付きを与えていただき、とてもいい経験になったと思います。

私がこのセミナーに参加して一番良かったと思うところは、交友関係が広がったことです。私は根室と美瑛に友達ことができました。営業の仕事で根室に行くことがあるのですが、根室に行った際にはタイエーというコンビニで働いているその友達と5分程ですけど話をしました。6月上旬に美瑛でマラソン大会が開かれますが、私は偶然、それに参加する予定だったので、前日に乗り込んで美瑛の友達とご飯をたべます。このセミナーに参加してとても良かったと思っています。

どうしても社内の交友関係に狭まってしまうと、なかなか交友関係が広がらないのでこのような貴重な機会に参加できてとても良かったです。

以上です。ご清聴、ありがとうございました。

青少年奉仕委員会 横田 英喜委員長

ありがとうございました。二人ともすごいスポーツマンでして、送迎をしたとき、世代も違うので話が合うか心配していました。好青年で、話している雰囲気を見て、自分にもこんな時代があったなと心が洗われたなあ。今となっては、何でこんなに汚れてしまった部分もあって、城さんのセミナーにしても自分には城みちるしか記憶がなかったのですが、スポーツをやっているとこのように立派になれるのだと、今までの人生を反省したところです。



来年も RYLA セミナーが5月16～17日に行われます。来年は山花のリフレで行われますので自分の会社の若手社員の方で参加させてみたい方がおりましたら、横田までよろしく願いいたします。

お忙しい中、来ていただきましてありがとうございました。小林支店長、ご協力をありがとうございました。

以上でRYLA セミナー報告会を終わらせていただきます。ありがとうございました。

本年度のグローバル補助金について

第2500地区グローバル補助金チームリーダー

荒井 剛君



皆さん、こんにちは。残りの時間を使いまして、本年度、うちのクラブで実施することになっておりますグローバル補助金事業について説明したいと思います。

事業内容なのですが、相手国はタイです。うちのクラブはこれまでタイと何回かやらせていただいております。プータンもありましたが、今回はタイになります。タイの 3330 地区にあるプロイラチャブリーロータリークラブが相手国のホストクラブです。

そこと何をやるかですが、ラチャブリー地区は後で地図を示しますが、バンコクから西に 2 時間ぐらい行った所です。その地域にある病院・リハビリ施設です。主に高齢者、若者も行く方々のリハビリのための機械を提供する内容になっております。実際に提供する場所は、バウンペーという病院的な施設になります。グローバル補助金ですので、ロータリーが掲げる 7 つの重点分野の 1 つに当てはまらないといけませんが、今回は「疾病予防と治療」という重点分野の 1 つの事業内容として進めることになります。

東南アジアの地図です。この中のタイは、ロータリーとしては 4 つの地区に分かれております。赤い円で囲まれた 3330 地区が今回、行くことになるホストクラブが所属する所です。ちなみに 3350 というのがバンコクです。バンコクから西に 2 時間と言っていたので、3330 と 3350 のちょうど境目の所にあると思います。少し大きくした地図です。バンコクがあります。左下にラチャブリーと書いています。ここが今回の相手方クラブがいる所になります。

バウンペー病院という平屋建てになります。そこに多くの地域住民が行くのですが、立派な病院がないのです。例えば、タイは車が多いので交通事故でケガをした方、「特に足をケガして、リハビリで歩く練習とかトレーニングが必要な場合に、そういった機器がありませんので、その器具をもう 1 個入れたい」と言うのです。リハビリに携わる理学療法士さんや病院の職員に対するトレーニングも含めて、地域住民に対してリハビリのトレーニング自体の研修もパッケージになったグローバル補助金になっています。

実際の機械はこれです。下の図を見ると分かると思うのですが、足の歩行が難しくなった方の補助として、足にいろいろ付けて歩くのを補助するという機械を導入するのです。

そもそもグローバル補助金がなぜ関わることになったのかです。去年の 3 月の 3330 地区のタイで行われた地区大会に縁があって私が参加することがあったのです。そこで声をかけていただいた方が窓口になってい

ます。その方がプロイチャブリーロータリークラブのメンバーなのです。日本から来た私にその方がなぜ声をかけてくれたのかというと、左側の写真で手を上げている人がスマリーさんですが、この方が興味を持っている方です。以前、このクラブの青少年交換留学事業とか道東地域に留学をしていたそうです。スマリーさんの子ども・娘さんも日本に来たことがあって、このクラブに所属する女性のパストガバナーなのです。その方もここ数年、日本の地区大会に必ず顔を出してくれています。去年の帯広にも来ていますし、一昨年の紋別にも来てくれました。3 年前の女性ガバナーがクラブに所属している縁もありまして、「日本が大好き」と言って私に声をかけていただいて、「何かできないだろうか」と言っていました。

最初に「姉妹クラブになりませんか」といきなり言われて、それはその場で答えることもできませんし、「話としてはわかりました、ありがとうございます」と言って持ち帰りました。どういうクラブなのかを向こうからアピールがあって、いきなり姉妹クラブということではなくて、共同でできる国際奉仕事業をやることならありえるのではないかと、水面下で動いていました。この写真は、向こうのクラブの人が「病院の何が問題なのか」「どんなことで困っているか」を聞き込みしているところです。そのときに、「リハビリ機器が足りない、これがどうしても必要なのだ、これがあると回復する人が劇的に増える。そうするとリハビリがでずに早死にする高齢者が多かったの、それが防げるのでぜひ導入したい」ということで、何度もヒアリングをしてニーズ調査をしておりました。

これは行った時の写真です。既にあるリハビリ機器の 1 つが左側の上です。実際にそれをどのように使っていくかという写真です。実際にヒアリングをしてこういう写真を私にも送ってくれました。

クラブの紹介をします。実は、このクラブは女性だけのクラブなのです。真ん中にスーツを着た男性がいますが、今年度のガバナーのジャクチャイさんです。ガバナーを除いて囲んでいるのがプロイラチャブリーロータリークラブのメンバーです。プロイラチャブリーロータリークラブは 2006 年 6 月に創立されていますので 19 年です。会員数は 50 人。50 人は写っていないですけど 50 人ほどおります。ラチャブリーロータリークラブがスポンサーになって生まれたので、プロイラチャブリーロータリークラブと言われている。ジャクチャイガバナーの左のセンターに座っている方が今年度の会長さんです。一番左に立っている女性が先ほど名前を出したスマリーさんです。去年、声をかけていただいて、去年の地区大会にも息子さんたちを連れて日本に来てくれて、「浜中のロッジで自然を見たいので宿を取って」と言われて、調べて取ってアテンドした方です。

3年前のバスターガバナーの女性は、スーツを着たガバナーの右隣の人です。少し大きくします。スマリーさんです。この方は、来年度地区のガバナー補佐になると聞いています。この人は、3年前のバスターガバナーでリヨンダさんです。この方の姪っ子さんが日本のアニメが大好きで日本語がペラペラです。紋別に行ったときに、どういう格好で日本に来ていたのか分かりませんが、紋別にも来てくれて、その姪っ子さんが通訳となっていていろいろ話をしてくれた思い出があります。細かい手続きになると難しいのですが、グローバル補助金は海外のクラブ、特定のクラブと日本のロータリークラブ、2つ以上のロータリークラブがタッグを組んでやることになっています。ロータリーのホームページにある「マイロータリー」のサイトから申請するのがスタートになります。そのときに、「それぞれのクラブの窓口となるキーパーソンを入れてください」と進みましたので、釧路クラブの窓口としては高橋会長の名前を入れております。相手方はスマリーさんが窓口です。字が小さいのですが、こういったグローバル補助金をやる場合には、「1人だけではなくてもう2人ほど追加してください」となりますので、2番目3番目と入れないといけないのですが、釧路クラブとしては2番目を東堂幹事、3番目を私に。グローバル補助金の地区のリーダーになっておりますので、今後の進め方とか、どうやるのかということで私が入っていたほうが多分いいかなと思って入りました。このメンバーに入っていないと、どんなグローバル補助金事業をやっている、どういう手続きで進んでいるか、そもそもこれを見られないので、私も登録させていただきました。

予算規模を少し補足説明します。グローバル補助金事業というのは3万ドル以上のプロジェクトになります。3万ドルですので1ドル150円とすると450万円規模の事業になります。この補助金事業をやるのにあたって、こちらがスポンサークラブになるのですが、スポンサークラブとしていくら支出するのかです。実際のところは、グローバル補助金事業をやるとしても、うちのクラブから今年度出るのが1050ドル、15万円ぐらいです。1人あたりに換算すると1000円ぐらいです。これは幸いにして、うちのクラブは100人規模のクラブですので、1人あたりの負担額は1000円ぐらいになります。もちろん10人単位

のクラブではもう少し負担が大きくなります。グローバル補助金に参加するという意味では1クラブ1050ドルの拠出をしないと行けない。逆にいうと1050ドルを負担さえすれば、450万円規模の補助金事業を海外のロータリークラブと一緒にすることができることになります。この仕組みを分かっているようで分からないと難しいのです。持ち出しすることとしては1050ドルになります。

もともとの原資は財団に対する補助金なのです。この説明は長くなるのでここでは説明しません。

これはプロイラチャブリークラブが去年、どのようにしてグローバル補助金の申請にたどり着いたかのプロセスを書いたものです。

これ、ようやく昨日送られてきた写真なのです。グローバル補助金事業の贈呈式が今週土曜日にタイのラチャブリーで行われます。贈呈式に本年度3役の高橋会長、吉田副会長、東堂幹事、私の4名で参加することになっております。「具体的なスケジュールを教えてください」と言っていたのですが、なかなか送られてなくて、昨日届いたLINEで質問があったのは、「ドリアンを食べられない人はいますか」です。それには答えていないのですが、「何ともいえません」とは答えました。

ここで分かるように、よくよく見るとラチャブリーがメインではありますが、他の6クラブも参加することになっております。全部で8クラブの共同事業となります。このパネルが現地で飾られると思います。ようやく昨日届きました。

4名で参加した後は、贈呈式についての報告が行われると思います。

以上、短い時間でありましたが、本年度行われるグローバル補助金についてご説明申し上げました。ありがとうございます。

本日のニコニコ献金

■杉村 莊平君 お陰様で「クールステイ釧路」の動画が公開になりました。拡散のご協力宜しくお願い致します。

今年度累計 489,000 円